Fグループリーグ2回戦（8月10日）	天候	曇	風	弱	ピッチの状態	良	
	気温	25℃	湿度	73%			

コンサドーレ札幌ユースU-15	2	1　—　0 1　—　1	1	セレッソ大阪U-15
15分　掘米 68分　近藤				66分　魚住 分 分

シ　ス　テ　ム	シ　ス　テ　ム
4−4−2	4−4−2

【コンサドーレ】　Gk伊藤　DF坂本・松浦・永井・和田　MF・小山内・堀米・高木・神田　FW近藤・下田
交代　　分　中川（　　）　　分　前（　　）

セレッソ大阪は1回戦、清水エスパルスを1－0で破り、この一戦に勝点3を積み上げると決勝トーナメント進出が濃厚になってくる。一方のコンサドーレは、負けると決勝トーナメント進出が絶望的となる。
今日の戦いの不安要素は、昨日のアントラーズ戦で右足太ももを負傷した荒野が出場できないこと。北海道大会からボランチでゲームメイクをしていた司令塔を欠くのは痛いが、総力戦で勝点3を必ず取ってくれることを願いたい
立ち上がりはややセレッソペースだが、お互いにパスがつながらない。10分ようやくコンサドーレにいい形が生まれる。インターセプトから神田→右サイドの小山内へサイドチェンジ→近藤へとつながり、得点とはなら無かったが、いい感じだ。やはり均衡を破ったのはコンサドーレ14分の攻撃。セレッソピッチ内に流れたボールを右サイドの坂本が諦めずに追いかけ奪い、すかさず近藤へパス。タイミング良くオーバーラップをした堀米がワントラップ、右足で先制点を流し込む。先制したコンサドーレ。その後は気持ちの良いポゼッションを展開する。
25分永井のヘディングシュートはボール1個分、クロスバーの上を越える。セレッソ大阪もスペースへ長いボールを入れて反撃に出ようとするが、コンサドーレのゴール前に行くことができない。今日のコンサドーレディフェンスの集中力が高い。しかし、ポゼッションをするエリアが自陣でやや低く、前線までの距離が遠い。もう少しボールを運び厚みをつけたい。コンサドーレ1点のリードで前半を終了した。
コンサドーレは昨日の悪夢を再現してはいけない。立ち上がりの5分間は集中を徹底してもらいたい。後半開始のホイッスルが響いた。セレッソはロングボールを多様して攻め込む。立続けのコーナーキックにも全員が集中してしのいだ。5分が過ぎ、どうやら昨日の二の舞は無いようだ。45分頃からはコンサドーレのペース。詰めも早くルーズボールに対してのよりも早くなった。ビルトアップも落ち着いてきた。一方セレッソは前へ前へと仕掛けてくるが、コンサドーレの集中したディフェンスは崩せない。59分疲れの見えた下田に替え11番前貴之を入れ2点目を狙いに良く。互いに激しい攻防を繰り広げていた66分に、昨日と同じく不用意にボールを失い、アーリークロスを放り込まれ、一度はクリアをしたが、こぼれ球をしっかりコントロールされ、ゴール右隅に同点弾を入れられる。引き分けで終わるかコンサドーレ！と誰もが思ったが、今日のコンサドーレは違う。2分後には左サイドにボールを運び、中央の近藤へ渡った。個人技で切り返しをした近藤の左足に、セレッソディフェンスの足がかかりPK。もちろんキッカーは近藤だが、昨日のPK失敗・・・。今日はGKが反応できない、強烈なPKで勝点3をもぎ取ったゲームだった。同組のもう一つのゲーム、鹿島アントラーズVS清水エスパルスは1－1で引き分けたため、明日の決勝トーナメント進出をかけたFグループリーグ最終戦は、壮絶な戦いになることが予想される。

戦評　加藤　孝俊